

## 白川峠 夫婦岩 摂津／播磨国境の証し?? 哀山の白川峠に磐座を訪ねる

古代 西国から畿内への入口 須磨の海岸は通れず、摂津・播磨の国境は山越の証しかも???

白川集落、高御原山の山頂部の林の中に夫と女神岩(雌高座・雄高座) 2009.5.20.

須磨の白川峠は摂津／播磨の国境由来。海岸が閉められて山中を抜ける土着路。西に遠征として有名な「一の谷」。東に「ひよどり越」のようの中継路。古くは駆けつけである。そんな山に集落の屋敷の奥山の山中に二つの高座があり、かつては家く野良鳥・文楽海と関連せよといふ。



夫婦岩・雌高座

夫婦岩・雄高座



新型インフルエンザ襲来で 動きが取れぬ5月後半 神戸の外へ出れぬ。

人ごみの中へも インフルエンザは野山へは通ってこないだろうと。

いつもは 六甲連山の西端 須磨高倉山から摂津／播磨国境の旗懸山・鉢伏山へ歩くのですが、反対側の白川峠からしあわせの村へ 須磨養老の古戦場「一の谷」とヒヨドリ越へと続く播磨国境の丘陵地の中間点 白川峠。今は住宅地のご真ん中の交通。

どこに岩があるのかも見えない住宅地のご真ん中。車が通る激しい十字路にギョッと立つ案内板 「白川の夫婦岩」の案内板。

そして この岩は 古代の二つの磐座(イワクラ)だといふ。

前々から気になっていたどこにあるのか知らぬ夫婦岩。

「この峠近くの山に海を見渡す高座・磐座があるといふのはこの白川峠周辺が摂津・播磨国境を越える本道の道の証し」とふっと思って この夫婦岩を過って、白川の集落の谷筋をしあわせの村へ。

この谷筋の奥まで、白川の集落がひろがっているのにもビックリでしたが、この谷筋の小川には、もう ホテルが飛んでいると・・・・・・。私の家のすぐ近くに こんな里山があるとはつゆ知らず、 近くの里山をWalkする楽しみの一つです。



白川の集落からしあわせの村への谷筋  
この谷川ではホテルがいて、もう飛び始めたよ。



白川集落の里山 雑木林に包まれた高御原山の尾根筋に二つの高座 夫婦岩がありました。かつては この高座から 淡路島・大坂湾が見通せたといふ。まったく知りませんでした 2009.5.20.



白川集落 高御座山の山頂部の林の中にある夫婦岩(雄高座・雌高座) 2009.5.20.

須磨白川峠周辺は摂津／播磨の国境地帯 海岸が開かれるまで山中を抜ける主要路  
西に逆落として有名な「一の谷」 東に「ひよどり越」のちょうど中間部 古くから開けた所である  
そんな白川集落の背後の里山の山中に2つの高座があり、かつては遠く明石海峡・大阪湾を見通せたという。



夫婦岩・雌高座

夫婦岩・雄高座



須磨 白川峠 高御座山 夫婦岩・雄高座 2009.5.20.



須磨 白川峠 高御座山 夫婦岩・雌高座 2009.5.20.



北東側 しまわせの村 通信塔のある高倉山 南東側 ひよどり越 南西側 明石海峡・淡路島  
高御座山 夫婦岩・雌高座からの遠望 かつては大阪湾・明石海峡が望めたという



白川集落から見た高御座山



白川の集落

